

IFAT 2024 ファイナルレポート

国際上下水処理・廃棄物処理・再資源化技術専門見本市
2024年5月13日～17日

2024年5月17日

世界をリードする環境技術見本市 IFAT Munich
業界の世界的成長を反映し、記録的成果を上げる



Summary

- 約 170 の国と地域から約 142,000 人が来場
- 61 の国と地域から 3,211 社が出展
- 30 万平方メートルに展示場を展開

Facts & Data

会期	2024年5月13日(月)～17日(金) 9時～18時 ※最終日のみ16時まで
会場	メッセ・ミュンヘン
主催	メッセ・ミュンヘン (Messe München GmbH)
規模	300,000 m ² (2022年:260,000 m ²)
出展企業	61カ国から3,211社(2022年度:59カ国から2,984社)
来場者総数	170カ国から142,000人(2022年度:155カ国から119,000人)
主な出展品	水抽出技術、上水・下水処理、配水・下水管、海岸保全、治水(洪水防止)、廃棄物処理、リサイクル、廃棄物発電、道路清掃・維持、冬期道路サービス、工場跡地汚染除去、土壌処理、排ガス洗浄、空気抽出技術、防音、測定・制御・ラボ技術、サービス、学術研究・リサーチ など
出展日本企業	アムコン(株)、(株)有沢製作所、(株)荏原製作所、(株)クボタ、(株)研電社、コベルコ建機(株)、コマツ産機(株)、(株)島津製作所、(株)ソルエース、(株)タンスク、(株)鶴見製作所、(株)テクノ高槻、(株)デンソー、東レ(株)、(株)ニクニ、ニデックドライブテクノロジー(株)、日東工器(株)、日立造船(株)、フジクリーン工業(株)、(株)堀場製作所、三菱重工(株)、三菱ケミカル(株)、三菱電機(株)、横浜ゴム(株) 他
専用URL	www.ifat.de (英語/ドイツ語)

上下水道、廃棄物、原材料管理に関する世界有数の見本市 IFAT Munich 2024 が、5月13日から17日までミュンヘン見本市会場で開催された。来場者数は、約170の国と地域から過去最高の約142,000人に上り、そのうちドイツ国外からの人数割合は50%を超えて過去最高であった。出展者数は、合計61の国と地域から過去最高の3,211社に上り、そのうち55%がドイツ国外の企業である。そして、この見本市会場は、30万平方メートルという過去最大の規模でもあった。

業界がイノベーションのリーダーシップを強調

主催者メッセ・ミュンヘンのCEOシュテファン・ルンメルは、「IFAT Munichは私たちに勇気づけ、将来への力を与えてくれる」と切り出し、「気候危機や原材料不足といった現代の課題は、テクノロジーによることでしか解決できない。気候変動に強い自治体への変革や産業の循環型経済への変革など、IFAT Munichは、私たちの未来に向けた解決策を提示するイベントである。IFAT Munichが、今年、政治やビジネスの世界、諸団体や企業などから、これまで以上に注目されたことをうれしく思う」と述べる。



IFAT Munich 諮問委員会会長の Johannes F. Kirchhoff 氏は、「今年の見本市は最上のハイライトであった。わずか5日間で世界中の業界の最も重要な代表者に会える場所は、ここをおいてほかにない。ここで紹介された様々なテクノロジーとイノベーションに、非常に感銘を受けた。環境技術の分野は、間違いなく現在最も革新的な産業のひとつである。このことは、ここ IFAT Munich で明確に実証された」と語る。

「循環型経済への計り知れない挑戦」

今年 IFAT Munich の主要課題は、どのように気候変動に適応し、いかにして気候保護の国際的目標を達成するかといった積極的な環境保護の方策であった。循環型経済は、使用すべく原材料の効果的削減に直結する重要な役割を果たしている。Remondis Management Board メンバーの Thomas Conzendorf 氏は、「技術革新が進み、製品がますます複雑化する中、循環型経済は計り知れない課題に直面している。IFAT では、顧客やパートナー、新たな関係者と、こういった問題について話し合い、一緒に解決に取り組むことができる。IFAT は、水産業とリサイクル産業が抱える関連トピックや問題を最も効果的な方法で結びつけることができるため、私たち関連業界全体にとって非常に重要なプラットフォームである」と語る。

気候変動への適応は必須

コミュニティは、気候変動への対応力を高める上で特別な役割を担っている。豪雨、洪水、猛暑、水不足などへの対処には、効果的な技術的解決策が必要である。Huber SE 社の CEO Rainer Köhlerf 氏は、



「IFAT Munich 2024 は、今回も相互交流と各産業の発展を促進するための非常に優れたプラットフォームとなった。上下水道管理事業や廃棄物・リサイクル産業は、循環型経済の促進と気候変動への対応力を高める上で非常に重要な位置付けにあり、水、エネルギー、環境、気候は、現代の最重要課題のひとつである」と語り、「今年の IFAT に対する私の個人的な印象は、非常によいものとなった。それは、当社のブースに、廃水処理プラントや下水処理プラントのオペレーター、プランナー、エンジニア、そして地方自治体や業

界の代表者など、ドイツ国内外から多くの来場者が訪れ、当社の紹介に深い関心を示してくれたからだ」と述べている。

地球規模課題としての環境技術

IFAT Munich で掲げたテーマと環境技術の重要性は、特にドイツ国外からの参加者の増加によっても証明されている。IFAT Munich のエキシビション・ディレクターのフィリップ・アイゼンマンは、「今年中国は、参加者が大きく増加し、出展者数では第 3 位にランクされ、来場者数でもトップ 10 に入った。また、アメリカ、オーストラリア、インド、日本、韓国からの来場者数も大きく伸びている」と述べ、「環境技術とソリューションは、世界的な成長市場であり、IFAT Munich はその重要なプラットフォームなのである」と締めくくった。



次回の IFAT は 2026 年 5 月 4 日から 8 日にかけて、ドイツ・ミュンヘンにて開催される。
詳細情報ならびに写真は、専用ホームページまで: www.ifat.de

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)